

(2) 企業の何を評価するのか
(評価の対象)

自社としての取組み

- 企業自らが、経営層の関与の下、災害等のリスクを踏まえて重要業務を特定し、事業継続に必要な人員・施設・設備・資金・情報等の経営資源を確保できているか
- 代替手段の確保や経営中枢機能の維持等の対策を講じているか
- 計画の策定にとどまらず、訓練・検証を通じて実効性を確認し、その結果や環境変化を踏まえて継続的に改善・更新しているか
- 従業員が安心して業務継続に取り組むことができる環境整備の観点で、従業員の家族への支援等の取り組みがなされているか 等

取引先との連携

- 重要な取引先やサプライチェーン全体のリスクを把握し、事業継続に必要な情報を取引先と共有できているか
- 代替調達・代替生産、在庫確保、相互応援等の対策を講じているか
- 平時から取引先との連携・訓練等を行い、災害時における復旧目標や対応方針を共有するなど、企業間の連携を通じてサプライチェーン全体の事業継続力を高めているか 等

地域社会との連携

- 自治体や地域の企業・団体等との平時からの関係構築を通じて、災害時における相互支援や地域の事業・社会機能の継続に取り組んでいるか
- 具体的には、自治体等との協定締結に加え、地域防災訓練への参加、自社の施設・物資・人員・ノウハウ等を活用した地域支援、地域からの支援を含む相互連携等、企業が地域社会の一員として地域のレジリエンス向上に貢献しているか 等

何を評価すべきか提示

(1) 誰が・なぜ企業を評価するのか
(評価者の目的)

行政（国・自治体等）

① BCP取組を評価する目的

- 企業の事業継続力を高め、災害等による社会・経済への影響を抑制するため

② 何を実現したいか

- 社会全体のレジリエンス向上
- 災害時の公共負担の削減

金融・保険

① BCP取組を評価する目的

- 取引先企業の災害等による事業停止・信用リスクを把握・低減するため
- 災害時に支払う保険金を抑制するため

② 何を実現したいか

- 取引先の事業基盤の強化
- 金融機関自身のリスク低減

取引先

① BCP取組を評価する目的

- サプライヤー等の被災による供給停止を防ぎ、自社の事業継続を確保するため

② 何を実現したいか

- 企業の事業継続力の向上
- サプライチェーンの強靱化

投資家

① BCP取組を評価する目的

- 投資先企業の将来のリスク・企業価値への影響を把握するため

② 何を実現したいか

- 中長期的な企業価値向上
- 投資リスクの低減

消費者

① BCP取組を評価する目的

- 災害時にも必要な商品・サービスを提供できる企業を選択するため

② 何を実現したいか

- 安定した商品・サービスの確保

どのように評価すべきか提供

(3) どのように企業を評価するのか
(評価の手法／手段)

制度の構築

【評価・認証制度の設立】

- 企業の「実効性のあるBCP」を客観的に評価・可視化する<必要な視点>
- ✓ 実効性を適切に測ることができる評価基準の設計
- ✓ 「計画がある」だけでなく、訓練・検証・改善までの評価
- ✓ サプライチェーン・地域社会との連携も含めた評価
- ✓ 企業規模・業種による違いも含めた評価
- ✓ 評価結果を行政・金融・取引先等が意思決定に使用できる設計となっているか 等

【表彰制度の設立】

- 優れた企業の取組を社会に発信し、企業の評価・認知を高める

<必要な視点>

- ✓ 単なるBCP策定企業ではなく、訓練・災害対応等の優れた実践的取り組み等、何をもって「優れた取組」かを評価
- ✓ 企業の信用・ブランド・取引機会創出等の繋がり創出
- ✓ 他企業が参考にできる仕組みの構築
- ✓ メディア・経済団体等を通じ、社会的認知度の向上 等

その他

- BCPの実効性を適切に評価し、企業の取組を社会的評価につなげるため、評価を担うプロフェッショナル人材の育成と、知見・事例を共有する専門家コミュニティの醸成が必要
- 金融機関・投資家も含めた社会全体として事業継続の普及に取り組むためのインセンティブの検討

（ 4 ）（ 3 ）の活用を促す取組

【インセンティブ制度の設立】

- BCPへの取組が企業にとってメリットにつながる環境をつくる<必要な視点>
- ✓ 金銭的インセンティブ
 - 補助金・助成制度
 - 税制上の優遇
 - 融資・保険料等の条件優遇 等
- ✓ 非金銭的インセンティブ
 - 公共調達・入札等での評価
 - 金融機関による評価
 - 投資家への情報開示
 - 企業ブランドの向上 等

第四回検討会で
審議を予定

評価の主体が抱える課題を克服し、社会的評価が定着

(5) 社会的評価が定着するための論点（各主体が求める目的に評価制度を活用させるための課題点）

(1) で示す評価主体毎に多様な課題点があり、次頁で詳細整理

（５）社会的評価が定着するための論点
（各主体が求める目的に評価制度を活用させるための課題点）

共通課題

- ① **BCPの実効性と各主体の評価軸との関係の明確化**

 - ✓ BCPの取組が、信用リスク、供給能力、企業価値等の各主体の評価軸にどのようにつながるのかを明確化
- ② **BCPの取組を適切に評価・判断できる人材・ノウハウの不足**

 - ✓ BCPの内容・実効性を理解するとともに、自らの評価軸との関係を踏まえて判断できる専門人材・ノウハウの確保
- ③ **評価結果を実際の意思決定に活用する仕組みの不足**

 - ✓ BCP評価を融資、取引、投資、調達等の具体的な判断に反映する仕組みの整備
- ④ **評価に必要な情報の取得・比較可能性の確保**

 - ✓ 企業ごとに異なるBCPの取組を、評価主体が効率的・継続的に把握・比較できる情報・指標の整備
- ⑤ **BCP評価を活用するインセンティブの不足**

 - ✓ 評価主体側にとって、BCP評価を活用することによるリスク低減、事業機会、取引関係強化等のメリットを明確化

行政（国・自治体等）

- ✓ **既存の行政制度にBCP評価を組み込む**
 - ・ 入札・公共調達時の加点・評価項目化
 - ・ 補助金・支援制度の採択要件/評価項目への活用
 - ・ 既存の認定・表彰制度との連携
 - ・ 災害時の協定締結先等の選定・更新時への活用 等

金融・保険

- ✓ **既存の審査・引受プロセスへの反映**
 - ・ 融資審査、信用評価、モニタリングにおけるBCP評価の確認項目化
 - ・ 保険引受・リスク評価における活用方法の整理
 - ・ 評価結果をどの程度リスク評価に反映するかの方を整理 等

取引先

- ✓ **サプライヤー管理への反映**
 - ・ 取引開始時のサプライヤー評価項目へのBCP評価の組み込み
 - ・ 定期的なサプライヤー評価・更新時への活用
 - ・ 評価結果に応じた追加確認・改善要請等のルール化 等
- ✓ **評価結果の調達リスク管理への反映**
 - ・ 評価結果を踏まえた調達手法、在庫確保等の判断への活用
 - ・ サプライチェーン上のリスク情報の可視化 等

投資家

- ✓ **企業分析・投資判断への反映**
 - ・ 企業分析におけるBCP評価項目の整理
 - ・ BCPを事業リスク・将来収益等と関連付けて分析する方法の検討
 - ・ 投資判断・ポートフォリオ管理等への活用方法の検討 等
- ✓ **企業との対話・開示につなげる**
 - ・ 企業に求めるBCP情報の整理
 - ・ 統一的な開示項目・情報フォーマットの検討 等

消費者

- ✓ **評価結果を「見える化」**
 - ・ BCP評価・認証等を消費者が理解できる表示方法の検討 等
- ✓ **企業選択につなげる**
 - ・ 消費者向けの普及啓発 等
- ✓ **社会的評価を形成する**
 - ・ BCP取組が企業の信頼性につながる環境づくりの検討 等

審議事項

- ✓ 社会的評価、並びに社会的評価の定着化に向けた全体像の整理を目的に、記載された内容に関し、網羅性・過不足の有無等について審議いただきたい
- ✓ 資料P.2は、今後検討を予定する社会的評価の定着化に向けた課題点・定着化に向け、評価主体毎のアプローチのイメージを記載
- ✓ 第六回検討会では、次年度以降の検討の方向性についてを審議いただくにあたり、アプローチ手法・優先順等についての審議を予定